

隣人会保育園園の自己評価

令和6年度

A・・よくできた B・・できた C・・一部改善が必要 D・・改善しなければならない

1、保育理念・保育観

1	園の保育理念・保育方針・全体的な計画を全職員に周知している	B
2	園の保育方針に基づいた、全体的な計画が立てられている	A
3	定期的に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている	A
4	全体的な計画をもとに行事や園外保育を計画し、実践・分析・評価している	A

年度初めの職員会議において、園の保育理念・方針の確認を行い、全職員が周知できるようにしています。保育所保育指針を元に、園の全体的計画・年間保育計画・食育計画・月の計画を毎年反省と見直しをもって作成しています。

幼児クラスでは、コロナ禍の規制が解け行事が復活してきましたがコロナ前に戻すのではなく工夫のあるやり方に変えて実施しました。乳児クラスでは日々の保育を大切に考え穏やかに過ごせるよう行事の参加はありませんが、クラスの中で季節を感じたり日本の伝統的文化には触れるように心がけています。毎月の職員会議で各クラスの保育計画を発表して、全職員が周知する中で保育を進めています。子供の成長をふまえ計画が変更になることもあります。

2、保育計画・保育実践と振り返り

1	全体的な計画を基に、各クラスで年間の目標を立案し計画的に保育を行っている	A
2	子どもの発達を理解し、その先の見通しを持った保育を工夫している	A
3	配慮が必要な場合、職員が共通認識を持ちその子に応じた対応をしている	A
4	保育の振り返りを定期的に行い、今後に生かせるようにしている	B

新年度に向けて、各クラス担任が目標の設定を行っています。保育の取り組みについても各クラスで話し合いを持ち、問題点や配慮が必要な事案についても全職員が共有と周知できる様にしています。

乳児・幼児での話し合い・職員会議等で意見交換も積極的に行えるようになりました。

子ども一人ひとりの成長に合わせ見通しをもった保育ができるように考え、配慮の必要な園児も各クラスに数名いることから思うように進まない時もあります。発達支援事業所の方と連携して個々に合った対応を学びその子が集団の中でも過ごせるように個別支援計画を作成し保育に活かしています。

3、環境・安全

1	一人一人が安心して過ごせる環境を工夫している	B
2	園の保育方針を基にした、環境構成が整えられている	B
3	職員一人一人が健康・安全に対する認識を共有している	B
4	職員が危機管理意識を常に持ち、緊急時に対応できるようにしている	B

子ども達の気持ちに寄り添う保育を心がけ、安心した楽しい保育園生活が出来るようにしてきました。また保育環境にも全職員で取り組み、今年度は特に乳児クラスの保育室の環境の設定を考えてきました。職員会議等では、怪我の報告やヒヤリハットの報告を元に事故・怪我の防止に努めてきました。昨年度に比べ傷害事故の件数が減った事は成果があったと評価しています。

年間の中で感染症の流行もみられ、保育室の清掃、換気、消毒等の強化をして感染防止に努めきました。子どもの事故や不適切保育の報道は今もなお聞かれ、他人事とは思わずその都度全職員と向き合い不適切保育が起こらないように危機感を高めてもらえるように努めました。

今年度は3回の大雨警報レベルが発令され、至急のお迎えの措置を取った時には「災害に対する園の対応」についての通知を配布して、保護者の皆様にも危機意識を高めてもらえるよう安全に配慮しました。

4、食育

1	職員が食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせた食育計画を立てている	A
2	栄養士・保育士等が連携し、食育を積極的に進めている	A
3	食材の安全に配慮した上で、様々な食材を味わえるようにしている	A
4	離乳食やアレルギー除去などの特別食に配慮している	A

食育年間計画表を基に年齢に合わせた取り組みを実践しています。

栄養士と保育士と一緒に食育活動に取り組み、子ども達の食に関する関心を深めることができます。給食のメニューも季節感を取り入れ、地元静岡の特産品を取り入れ人気のメニューはレシピを作り保護者へ提供しています。（はんぺんフライ・納豆サラダ・マーボー豆腐が人気）

離乳食は調理担当者が保育士と保護者と子どもの進み具合を見ながら、無理のない様に進めることで食べる事への意欲に繋げています。アレルギー除去食にも個々に合わせ安心して提供できるようにしています。好き嫌いや食の細い子もいる為、完食を求めず個々に合った食事の進め方をしています。

5、職員構成・役割分担・研修

1	職員の仕事や役割を明確にし、連携しながら円滑に保育が進められる様に心掛けている	B
2	園内・園外研修の年間計画を立てて、実行していく	A
3	各職員が保育を深めるための研修を積極的に行っている	B

新年度の会議で園務分掌、役割分担を明確にして、各専任リーダーが相談して進めています。
キャリアアップ研修や各研修に積極的に受講し自己研鑽に努めました。

園内研修では、「ひとりひとりが大切に育てられる環境とは」どんな保育なのか保育環境の見直しをする為に、他園の視察見学に出掛け学んだりDVD研修を受けて職員が共通の意識を持って取り組めるように努め保育の環境設定の見直しが進んでいます。0歳児から5歳児までの流れる保育環境は6年計画で進めて参ります。

6、保護者支援・子育て支援

1	保護者に対して、園の保育内容や子供の姿が分かるような発信をしている	A
2	保護者の状況等、個人情報の漏えいに気を付ける	A
3	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感するように心掛けている	A
4	地域で子育てしている親子に配慮し、園児との交流を積極的に進めている	A

園の保育方針については、入園時に重要事項説明書や入園のしおり等で説明しています。
日々の活動では、3年目となるドキュメンテーションの形で子ども達の姿をより分かりやすく写真の記載などして伝えて定着しています。保護者皆様からも好評です。写真記載に関する個人情報については各家庭に承諾書を頂いて、個人情報の管理には全員が気を付けています。

また、お子様の送迎時には、担任が受け入れと引き渡しを心がけお子様の一日の様子も伝えています。
面談や保護者様の相談にも随時行っています。

地域子育て支援については、毎月3回水曜日に園庭開放を行って対応しています。年間計画を立て地域の親子様は、毎回楽しみに参加して頂いています。

7、小学校や地域との連携

1	町内会や地域の方との交流を積極的に行っている	C
2	ボランティアや実習生を受け入れる意義を理解し、受け入れる体制が整えられている	A
3	近隣の小学校と連携をとる	B

近隣の地域の方との交流は、新型コロナ感染症の規制が無くなりましたが積極的に交流が出来ませんでした。昨年度から町内のイベントには場所の提供をして繋がりを大切にしています。

老人施設との交流も今年度も残念ながら再開が出来ませんでしたが、園児のおゆうぎ会の様子をDVDにして、高齢者の皆様に喜んで観て頂けるようにプレゼントをしています。来年度は交流の再開を目指しています。

中学生の職場体験・短大大学の保育実習には積極的受け入れしています。保育士不足の現状から実習生には、保育の魅力を配信できるように丁寧に対応をしてきました。

就学する小学校へは、参観会に参加をして情報交換の場を設けています。また支援の必要な園児には小学校への接続も丁寧に行ってています。